

別紙3 評価基準

評価項目		評価基準	満点
趣旨理解		本市が「Microsoft 365 Apps for enterprise」及び「Teams Enterprise」から「Microsoft 365 E3」へと移行する変革期にあるという背景を的確に捉えているか。 「京都市DX人材育成プログラム2025-2029」の目的を深く理解し、全庁の業務効率化や質の向上に資する提案となっているか。	10
研修等実績		直近3年間において、官公庁（国、地方公共団体、独立行政法人）からのデジタル力・DXスキル向上等に関する研修業務の受注実績を有しているか。 講師が、Microsoft 365の活用推進や業務改善支援等に関して3年以上の経験を有し、製品を熟知しているか。	10
研修実施体制等		役割分担、実施・サポート体制、集合研修の緊急時の対応、各種打ち合わせ等について、研修仕様書を踏まえ、本研修を安定的、意欲的に実施できる提案となっているか。 本市のセキュリティ要件等に応じたテキストのカスタマイズができる場合は、高く評価する。	10
実施方法	必須項目	研修実施方法の提案が、効率的・効果的な実施に資するものとなっているか。	10
	独自提案	募集要項に記載の契約上限金額を超えない範囲の費用で、以下のような提案がある場合は高く評価する。 ・予算内で最大限の効果を発揮するため、実施形式や回数、時間設定等に独自の工夫がある ・研修資料および研修動画について、市役所内部で職員が利用する範囲における共有を認める など	15
研修内容	必須項目	研修内容の提案が、研修仕様書に記載されたような各ツールの習得に資するものとなっているか。	10
	独自提案	募集要項に記載の契約上限金額を超えない範囲の費用で、以下のような提案がある場合は高く評価する。 ・単なる機能紹介ではなく、具体的な業務課題の解決策や操作方法を学べる構成となっている ・複数のアプリケーションを連携させた業務改善（例：Forms申請からTeams通知・Lists蓄積等）を習得できる ・自治体業務の具体的なユースケースが提示され、受講者が自部署の課題解決をイメージできる工夫がある ・受講者が得た知見を自部署へ効果的に波及させるための工夫（部署内展開用資料の提供等）が含まれる など	25
見積額		以下の計算式により点数を算出する。 ただし、小数点以下の端数は切り捨てるものとし、算出結果が10点以上となった場合は10点とする。 計算式：6点 × （提案者全体的見積額の平均値） / （評価対象の提案者の見積額）	10
合計点			100